

(様式 2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

龍野健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">管内では高齢化の進展を背景に、平成29年度から県フレイル予防事業に先立ち、フレイル予防事業に取り組んだ。住民や施設利用者への講義やレシピ配布、配食運営者への栄養管理支援等、地域密着型の予防事業を実施してきた。令和2年以降、市町で高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が開始され、管内4市町の食育計画にフレイル対策が位置づけられる等、市町主体の事業展開が進んだ。市町事業の後方支援として、近年継続的に課題ヒアリングを実施した結果、住民向け講話は知識付与にとどまり行動変容が乏しいことや、多職種連携による包括的な体制構築の必要性が確認された。さらに、栄養指導の担い手不足や専門性の深化が課題であり、地域で活躍できる人材の活用・育成が急務である。
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none">市町が地域に根差した事業を活発に実施できるよう、持続可能な人材育成の仕組みづくりを支援する。前年度に管内に開設された強化型認定栄養ケアステーションの実態把握をし、有資格者が市町事業で地域資源として活用されるよう働きかける。市町事業の担い手確保及び育成のため、当所は、地域活動栄養士並びに食生活改善推進員を対象に、協力者育成を目的とした食育セミナーを開催し、市町に対する後方支援を行う。
成果	<ul style="list-style-type: none">強化型認定栄養ケアステーションの活動実態を把握し、地域における活用方法の一つとして市町へ情報提供できた。地域活動栄養士は、従来の市町母子保健事業を中心とした活動から対象を広げ、フレイル予防を支援する専門職としての力量向上を図ることができた。また、食生活改善推進員も知識向上により事業参画に向けた体制整備が進んだ。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">市町主体のフレイル予防事業では、庁内外の多職種連携が課題である。当所は地域包括ケア会議等市町の既存会議を活用し、栄養士が把握する地域課題の整理と市町間の共有を支援する。強化型認定栄養ケアステーションは自主運営であるため、公平性・中立性に留意し地域事例も参考に対応する。併せて、公益的な立場から活用しやすい兵庫県栄養士会の栄養ケアステーション等も含め、地域資源の機能・活用場面・連携上の留意点を整理し、得られた情報は随時地域関係者へ提供する。市町栄養士に限らず、職域を含む医療・介護分野の多職種が参画する他事業に関与し、西播磨圏域の重点目標（第3次計画）を踏まえ、地域全体の栄養課題について、県の動向を注視しながら整理し、次年度の事業方針検討につなげる。

2 会議の開催状況

実施日時	令和7年9月29日(月) 10:00~11:00
参集者 (団体数 及び人数)	管内2市2町栄養士 計6名 (たつの市2名、宍粟市1名、太子町2名、佐用町1名)
協議内容	1 令和7年度食育実践活動についての報告 2 各市町のフレイル対策事業の現状と課題について 3 次年度の食育実践活動について
今後の方策	市町ではフレイル予防事業が進められている一方、栄養士の配置が限られ、十分な情報提供が難しいとの課題がある。働き世代への地域職域連携も踏まえ、幅広い世代に情報が届くよう、他職種連携を含めた実施体制づくりの支援を検討する。

3 食育実践活動の結果

テーマ	フレイル予防事業に関わる人材資源のスキルアップ		
対象及び参加者数	栄養ケアステーション龍野中央 管理栄養士 1名 管内地域活動栄養士 6名 管内いずみ会員 25名		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	R7.7.10 栄養ケアステーション龍野中央	栄養ケアステーション龍野中央ヒアリング（実態把握）	健福栄養士 2名 栄養ケアステーション担当者 1名
	R7.8.20 龍野健康福祉事務所第5会議室	食育セミナー 「フレイル予防の栄養指導について 栄養ケアステーションとは」 講師：栄養ケアステーション 龍野中央 田中聡子氏	健康参事 1名 健福栄養士 1名 地域活動栄養士 6名
	R7.8.26 龍野健康福祉事務所第5会議室	食育セミナー 「フレイル予防の栄養指導について」 講師：栄養ケアステーション 龍野中央 田中聡子氏	健康参事 1名 健福栄養士 2名 管内いずみ会員 25名
成 果	<ul style="list-style-type: none"> 管内で初めて設立された強化型認定栄養ケアステーションについて、活動内容や稼働状況の実態把握を行った。その結果、役割や機能、関与可能な場面が整理された。さらに、市町栄養士や地域人材と情報共有を図ることで理解が深まり、市町事業における地域資源としての具体的な活用方法の一つとして整理し、市町へ情報提供することができた。 「市町事業における人手不足」という地域課題に対し、人材育成の視点から後方支援を行った。 地域活動栄養士は、従来の市町母子保健事業を中心とした活動から対象を広げ、フレイル予防分野への関与を通じて、地域課題に応じた支援の視点や実践力を高めるなど、フレイル予防を支援する専門職としての力量向上を図ることができた。これにより、地域活動栄養士自身が活動の選択肢を広げる契機となった。 食生活改善推進員においても、フレイル予防や栄養に関する知識の向上が図られ、今後の事業参画を見据えた役割整理や連携体制づくりが進むなど、地域における支援体制の基盤強化につながった。 <p>【8/20、8/26 参加者アンケートの結果】</p> <p>① 食育セミナー参加人数 地域活動栄養士：6名 管内いずみ会員：25名</p> <p>② 食育セミナー終了後アンケート結果 （「セミナーの内容は日頃の食育活動に役立つと感じたか」）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動栄養士 「とてもそう思う」1名 「そう思う」5名 いずみ会員 「とてもそう思う」19名 「そう思う」5名 <p>➡ 参加者の大多数が肯定的に評価しており、人材育成を通じた知識・意識向上という成果が確認できた。</p>		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 各市町フレイル事業の後方支援の継続 今後の事業方針を検討する。 		

龍野健康福祉事務所でのフレイル予防の取組み(H29～R7)

現 状

龍野健康福祉事務所では管内の高齢化の進展を背景に、平成29年度から、フレイル予防に関する取組みを主体的に進めてきた。

市町主体の事業展開が進む中、近年、市町事業の後方支援へと事業転換してきた。

課 題

管内4市町の困りごとは、以下3点

- 住民向け講話は知識付与にとどまり行動変容が乏しい
- 多職種連携による包括的な体制構築が必要
- 栄養指導の担い手不足や専門性の深化が乏しい

令和7年度テーマ

フレイル予防事業を支える地域食育人材の育成と連携強化

市町が地域に根差した事業を活発に実施できるよう、持続可能な人材育成の仕組みづくりを支援する。

- 前年度に管内に開設された強化型認定栄養ケアステーションの実態把握をし、有資格者が市町事業で地域資源として活用されるよう働きかける。
- 地域活動栄養士並びに食生活改善推進員を対象に、協力者育成を目的とした食育セミナーを開催する。

食育実践活動

栄養ケアステーションの実態調査



管内に設立された強化型認定栄養ケアステーションについて活動実態を把握。

食育セミナー (地域活動栄養士向け)



強化型認定栄養ケアステーションの管理栄養士を講師に迎え、フレイル予防のための栄養管理について講話。

食育セミナー (いずみ会員向け)



実践活動の結果と成果

【参加者アンケートの結果】

- ① 参加人数 地域活動栄養士:6名 管内いずみ会員:25名
- ② 「セミナーの内容は日頃の食育活動に役立つと感じたか」
- ・地域活動栄養士 「とてもそう思う」1名 「そう思う」5名
 - ・いずみ会員 「とてもそう思う」19名 「そう思う」5名

➡ 参加者の大多数が肯定的に評価しており、人材育成を通じた知識・意識向上という成果が確認できた。

【成果】

- ・「市町事業における人手不足」という地域課題に対し、人材育成の視点から後方支援を行った。
- ・また、指導者に強化型認定栄養ケアステーションの栄養士を活用することで、市町事業における地域資源としての具体的な活用方法を提示することができた。
- ・地域活動栄養士・食生活改善推進員ともに、これまで活躍していた母子保健分野に加えてフレイル予防分野でも活動できるようになり、活動の選択肢を広げる契機となった。

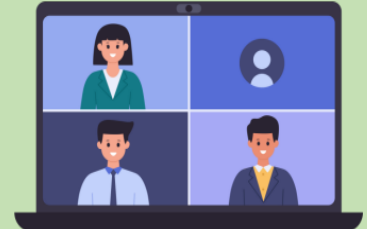
健やか食育会議

日 時:令和7年9月29日(月) 10:00~11:00

参集者:管内2市2町栄養士 計6名

(たつの市2名、宍粟市1名、太子町2名、佐用町1名)

- 内 容:
- 1 令和7年度食育実践活動についての報告
 - 2 各市町のフレイル対策事業の現状と課題について
 - 3 次年度の食育実践活動について



➡市町ではフレイル予防事業が進められている一方、栄養士の配置が限られ、十分な情報提供が難しいとの課題がある。働き世代への教育ニーズも踏まえ、幅広い世代に情報が届くよう、他職種連携を含めた実施体制づくりの支援を検討する。

今後の方向性

各市町フレイル事業の後方支援の継続

- ・市町主体のフレイル予防事業では、庁内外の多職種連携が課題。当所は市町の既存会議を活用し、栄養士が把握する地域課題の整理と市町間の共有を支援する。
- ・地域資源の機能・活用場面・連携上の留意点を整理し、得られた情報は随時地域関係者へ提供する。

他健康課題への事業転換

- ・職域を含む医療・介護分野の多職種が参画する他事業に関与し、西播磨圏域の重点目標(第3次計画)を踏まえ、地域全体の栄養課題について、県の動向を注視しながら整理し、次年度の事業方針検討につなげる。